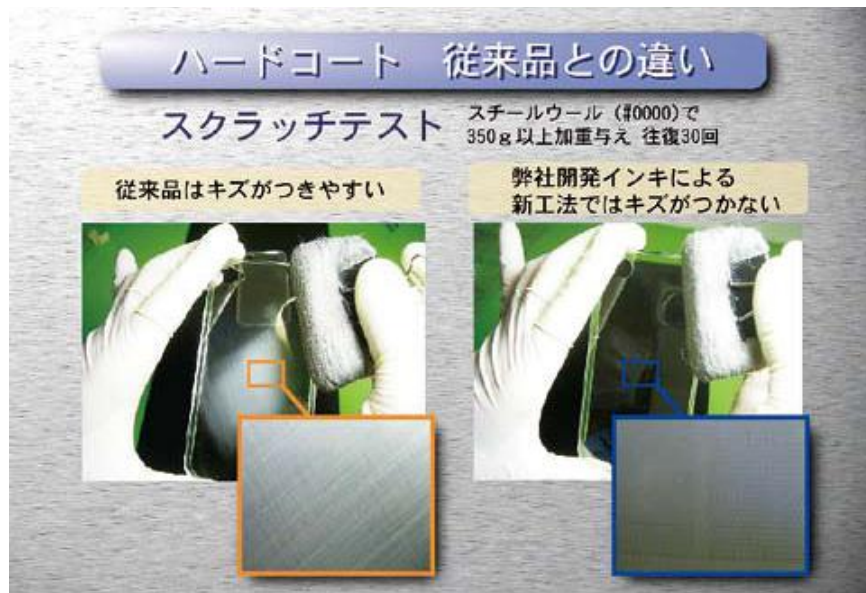


株式会社 田中製作所

新開発のノングレア工法で「B to C」への展開を図る

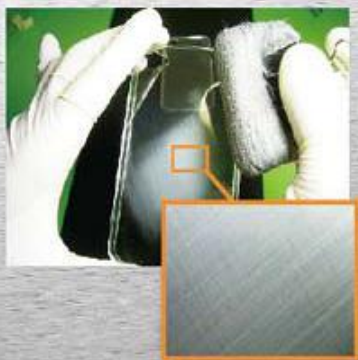
期相
納相
オンリー
ワン技術
認作可
小ロソ



ハードコート 従来品との違い

スクラッチテスト スチールウール (#0000)で 350g以上加重与え 往復30回

従来品はキズがつきやすい



弊社開発インキによる新工法ではキズがつかない



強力ハードコートならスチールウールでも傷がつかない

業務内容
組立・加工分野で
長年のノウハウを蓄積

自動車モーター部品や携帯部品の組立、絶縁粉体の塗装加工を始め、電子部品の組立・加工・検査分野で高い技術力を誇る田中製作所。

近年ではゲーム機のパネル組立やクリーンルーム内のカーナビバックライト組立に携わる等、精密機械部品の分野でも取引先から高い信頼を勝ち得ている。

社発 自開
高い塗装技術を応用した
ノングレア新工法を開発

同社は、数年前から将来を見越した新プロジェクトに積極的に取り組んできた。「機械部品の加工・組立ノウハウを活かした独自技術の開発を進めてきました。そしてたどり着いたのが『ノングレア印刷』です」と池田社長は話す。ノングレアとは、対象の表面にシボ（凹凸）をつけて、低反射処理を施す塗装方法のこと。液晶ディスプレイやスマートフォン等、いろいろな場所で使用されている。

従来までの主流はインキ噴霧を行うスプレー工法。しかし同社が開発したのは、「田中工法」ともいえる新しいノングレア塗装法だった。創業以来の粉体塗装技術を応用し、独自の機械設備によって塗装面に直接シボを「印刷」するのだ。シボ模様の金型の作成が不要でコストを抑えられる他、溶剤となるVOC（揮発性有機化合物）も必要としないため、環境にも優しい。さらに仕上がりに調整が必要となる場合には、金型修正を経ずにインキ

配合のみで調整が可能。低コスト短納期で顧客の要望に応えることができる。

新展開
新技术を軸に据えて
「B to C」への進出を目指す

「今後はノングレアの新工法を用い、最終製品の製造を手掛けていきたい」という池田社長。その第一弾がスマートフォン用カバーだ。

新工法を用いて独自開発のインキをカバー表面に塗装し、強固なコーティングにより傷をつきにくくするのが特長。スチールウールを用いたスクラッチテストで、従来製品を大きく上回る耐久性を見せた。

今後の展望
コア技術と新技术を両輪に
自由で柔軟なものづくりを

各産業分野において、日本国内の製造ラインが海外に流出しつつある中、同社では従来の「加工・組立」と「ノングレア印刷」を両輪として事業を進めていく予定だ。会社の経営理念に定められた言葉は「仕事の本質への限りなき追求」。その言葉が示す通り、常に「顧客

が本当に求めているものは何なのか」を意識し、自由で柔軟な発想力を駆使しながら、今後も同社の挑戦は続く。



車載パネル等に採用されているノングレア印刷

COMPANY PROFILE

株式会社田中製作所

ISO 9001



昭和36年にプレス加工業として創業した当社。仕事には「常に全力で」取り組んでまいりました。今は日本の製造業の変化点だと思えます。部品組立・加工業で積み上げてきた設備や技術力を活かし、新分野へとこぎ出していかなければなりません。今後は、従来の組立業と新たなノングレア印刷工法を両輪として、さらに会社を発展させたいですね。

失敗しても、できるまでやること。
これが成功の秘訣だと思えます。

代表取締役 池田 正範さん



■主な事業内容
弱電部品等の組立・加工全般等

■主な取引先（納入先）
自動車・機械部品メーカー等

住所 / 〒572-0812
寝屋川市新家1-2-5
TEL / 072-824-2461
FAX / 072-825-0237
創業 / 昭和36年12月
設立 / 昭和44年7月
資本金 / 3,500万円
従業員 / 100名

<http://www.tanakaworks.biz/>